

アウトメディアチャレンジについて

学校名（ 権現堂川小 ）

1 スマホ・ゲーム等を持つ（持たせる）ときの決め事（ルール）はどのようなものが必要だと思いますか？

- ・習い事の送迎の関係で持たせた。
- ・フィルタリング機能・電話は親とのみ
- ・LINE 等アプリも時間制限 1 日30分・親が見られる。8時半まで。
- ・中学校に向けてルールを決めていく。
- ・家族全体で協力！！！父親の協力大事。
- ・食事中は消す。
- ・夫婦で話し合って、休日の午前中はノーメディア



2 現状で困っていること、または持たせたら困りそうなことはどんなことですか？

- ・お母さんだけが言っている。お父さんの指導に困っている。



3 家族会議でできそうなことはどんな項目ですか？

- ・なぜだめか根本理由を伝える。→親が伝えられる資料を。夫婦で話し合えるような資料を。
- ・子ども自身が気づく保健指導を学校と家庭が連携して。
- ・やってみた感想を児童同士家族同士で共有する。



アウトメディアチャレンジについて

学校名（吉田小）

1 スマホ・ゲーム等を持つ（持たせる）ときの決め事（ルール）はどのようなものが必要だと思いますか？

- ・親の目の届くところで使用する（一緒についてあげて声かけ）
- ・YouTube をみる際はタイマー機能を使う（実際にやっけていてうまくいっている例）
- ・オンラインゲームで子どもがつながるのならば、親同士もつながるべき（家庭間で使用時間等の決め事をするのは親の役目）
- ・ルールを決めるのならば、親もそれを守るべき（一緒に取り組む）
- ・ルールを決める上で、なぜそれを守らなければならないのか？という理由を 具体的に説明し、理解させるべき。



2 現状で困っていること、または持たせたら困りそうなことはどんなことですか？

- ・インターネットなど、外からの情報の影響（メディアリテラシーの問題）



3 家族会議でできそうなことはどんな項目ですか？

- ・家族会議をまずやること自体が大切
- ・家族の何気ない会話の中で、普段から話題にできることが理想であるが、それができない家庭もあるから、家族会議を提案することで、話し合う機会をもつことができるのではないかな？



アウトメディアチャレンジについて

学校名（ 八代小 ）

1 スマホ・ゲーム等を持つ（持たせる）ときの決め事（ルール）はどのようなものが必要だと思いますか？

- ・怪しいサイト・アプリはつながらない。
- ・親子で一緒にルールを作る。
- ・使用時間、使用場所を決める。
- ・家族との時間を持つ。
- ・就寝時間に影響がないように早めに辞めさせる。



2 現状で困っていること、または持たせたら困りそうなことはどんなことですか？



- ・YouTube がとまらない。
- ・親の知らない子とのやり取り。
- ・事件に巻き込まれないか

3 家族会議でできそうなことはどんな項目ですか？

- ・なぜ、やりすぎることが良くないのかを説明する。ただ、「ダメ！」ではない。
- ・コミュニケーションを持つ場を意識して持つことが大切。



4 その他

- ・まだメディア機器（ゲーム機、スマホ等）を持たせていない。逆に、友達からおいて行かれないか心配。
- ・依存になってしまうのが怖い。テレビで入院治療をしている子供の様子を見た。保護者もいろいろな知識を持つことが必要→保護者向け講演会も良いのではないかな？→でも、本当に必要な保護者は見に来てくれない。。
- ・子どもにとって、先生に褒められることはとてもうれしいこと。ワークシートの先生からの一言でもやる気につながっている。
- ・親がいくら言ってもやめられないので、物理的にメディアから離れるようにしている（一緒に公園に行く、お菓子作りをするなど）。メディアの他に楽しいことがあるとよい。親の協力が不可欠。

アウトメディアチャレンジについて

学校名（ 東中学校 ）

1 スマホ・ゲーム等を持つ（持たせる）ときの決め事（ルール）はどのようなものが必要だと思いますか？

- サイトの時間制限
- 学習時間の確保
- 終了時間の制限。11時に親の寝室で充電させる等
- 問題（成績が落ちる等）がなければOK
- 家族と出かける機会を増やす
- 安全のために渡したのでルールがないし、やる時間がない。



2 現状で困っていること、または持たせたら困りそうなことはどんなことですか？



- 時間等のルールを決めても守らない
- 取り上げて誰もいないうちに探し出してやってしまう（仕事をしているのでそこまで監視できない。）
- スマホが魅力的すぎる
- 困っている家庭と、そうでない家庭の差がある
- 反抗期もあってなかなかルールを守ってもらえない

3 家族会議でできそうなことはどんな項目ですか？

- 中学生になると、話し合いが難しいかも…
- テーマがあれば…



【権現堂川小 感想】

- ・改めて健康について考えさせられるよいきっかけとなりました。
- ・アウトメディアについても子供のみだけではなく、家庭での課題も見えたので、夫婦間でもしっかりと話し合っていきたいと思いました。
- ・みなさんの貴重な意見が大変参考になりました。どこもスマホ・ゲームの使いすぎに困っていて、いかにルールを決められるか、話し合う環境がもてるように学校にも協力を頂きたいです。また、視力低下に関する話をもっと聞きたかったです。(結果報告だけでなく、未来にできること。)
- ・自分としては家庭で放任だった為に失敗した経験があるので、小中学校の子供達にはいい経験をしてほしいという思いがあります。どう生きても自分の人生一度きりの人生でやりたいことを見つけてやり続ける、その為には、何かをすると何かをやらない、メディアの使い方はそこに集約されるかなと思っています。必要なことが増えているので、メディア化が避けられないこれからの時代に難問ですが、学校家庭が協力してともに取り組みましょう。

【吉田小 感想】

- ・仕事と家庭の中でせわしく過ごしているので、このような機会に立ち止まって考えていることの大切さを痛感しました。いつも家族のコミュニケーションをより丁寧に、深い信頼関係と理解し合えることができる家族会議にしていきたいと思いました。今回のように学校関係者と保護者、さらには保護者・家庭同士が課題を共有し、解決に結びつけようとするつながりも重要だと思いました。忙しいからこそこうした気づきを皆で大切にできればと思います。
- ・今日はアウトメディアチャレンジについて話し合いができ、勉強にもなりました。これからは親がついていけない程、メディアなどが加速するんだと思います。その為にも日頃から家庭での話し合い、コミュニケーションが必要で大事なんだと。また、家庭だけでなく、学校でも一緒に考え、どうすれば子供たちがルールを守って生活していけるのか考えなければならないと思います。資料等を参考にし、子どもと親と一緒にアウトメディアについて学べる授業があるといいですね。

【八代小 感想】

- ・養護教諭の素晴らしい取組の紹介と資料を用意していただきありがとうございました。
- ・「マンネリ化」という話もあるが、マイナーチェンジしながら継続していく価値はあると考える。
- ・メディコンビンゴ、ネット依存度チェックリストはとても良いと思いました。
- ・子供がYouTubeに依存していて困っている。子供が自分でルールを決める、長時間のネット利用はどんな悪影響があるのか親子で一緒に考えるのが良いと思った。
- ・ビンゴは楽しみながらできそうだ。

【東中 感想】

- ・メディアの利用については、子どもたちの年齢が上がるにつれて、利用に制限をかけるのが難しくなってきたが、家庭とのコミュニケーションの取り方について考えたいと思いました。
- ・自分のところでは問題がないので、あまり考えなかったことをいろいろ話し合えて良かったです。
- ・今後取り上げてほしい議題は特にありませんが、勉強のやる気を上げるには？ということをやってもらえたらと思います。

【指導講評（吉田小学校薬剤師：関谷 陽子 先生より）】

- ・コロナ禍の影響もあり、閉鎖的社会の中で問題が重大化している。
- ・ご家庭でコミュニケーションをしっかりとっていくことが大切である。
- ・メディアの使用時間が増えることにより、睡眠不足が増加している。発達や健康にとって睡眠時間をしっかり確保するところは非常に重要である。
- ・食事と睡眠というのは関係性が深い。お子さんの便がしっかり出ているかよく確認しましょう。
- ・メディアの使用時間が増えたと便秘も増加する。運動不足や食生活等の乱れから排便リズムが乱れる。
- ・便は健康のバロメーター。お子さんの排便をしっかりチェックしましょう。